

JFW インターナショナル・ファッション・フェアきょう、最終日

織研新聞社が主催する日本最大級のファッション総合展示会「JFW インターナショナル・ファッション・フェア (JFW-IFF)」が、15日に最終日を迎えました。日本のほかアジア、欧米など14カ国から756社(1120小間)の出展があった今回の展示会には、初日の13日に8,382人、2日目の14日には9,478人、最終日の15日は午後1時時点で3,608人の来場者がありました。

ライブ感重視のディスプレイやイベントがバイヤーの熱視線あつめる！



3日間の会期中、来場者の注目が集まったのは、趣向を凝らした出展内容やライブイベントです。首都圏だけでなく、地方からの専門店バイヤーを含め、全国に販路を広げたい出展者が、自社の製品やものづくりをバイヤーに分かりやすく見せようとする傾向が、今回の JFW-IFF では、特に顕著でした。神戸ファッションブースは靴やアクセサリーの企業が集まって百貨店の編集売り場のような展示ブースを作り、自社のものづくりが実際の売り場でどのように見えるか、演出し、バイヤーの興味を引いていました。また、西播地域地場産業振興センターのブース内では、革製品のミニ工房が設置され、職

人が製品の製造工程を実際に来場者に見せる展示を行いました。海外からの出展では、中国プラス1の最右翼と目されるバングラデシュからの団体出展が JFW-IFF 初出展ながら、商品調達拠点の多様化を図りたいバイヤーから熱い視線を集めていました。

一方、経済産業省と中小企業基盤整備機構が取り組む市場指向型ハンズオン事業「ニッポン・モノ・イチ～クリエーションスピリッツ～」は、フェアの初日にテレビ通販のジュピターショップチャンネルの生中継が行われ、特設ステージで、出展企業の扱う商品のプレゼンテーションが行われ、完売となるアイテムも出るなど、大きな反響を呼びました。さらに、会期中は、織研新聞社編集局の名物記者や、外部講師を招いての各種セミナーも行われました。年800社近くで、小売店のバイヤーを中心に毎回3万規模の来場者があります。





次回の JFW - IFF は、7月21～23日まで東京ビッグサイト西棟で！

次回の JFW - IFF は、2010年7月21～23日から今回と同じく東京ビッグサイト西棟で開催します。出展者ならびに来場者をはじめ、日本のファッション産業のお役に立てる展示会をめざし、今後も様々な取り組みを行ってまいります。次回の JFW - IFF にもぜひご期待下さい。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

織研新聞社 JFW-IFF 事務局
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 31-4
担当：柏木・植田
E-mail:iff-10@senken.co.jp

報道関係者の皆様には、今後とも JFW-IFF へのご協力をよろしくお願いいたします。

